

主 題 名 おたがいのちがいをみとめ合おう

教 材 名 みんなちがって みんないい

(出典:金子みすゞ童謡集「わたしと小鳥とすずと」JULA出版局)

人権学習の視点 普遍的な視点「自尊感情」

主題・教材について


本資料は、わたし・小鳥・すずが、個々の「よさ」をもっていることを表現している。子どもたちは、一人一人が違う個性をもっていることを理解しながらも、一人一人の「よさ」をそのまま認めることができにくい場合もある。終末の一文を考えていく中で、一人一人が温かく幅広い目で友達を見ることができるようになっていきたい。また、友達の良いところや自分のよさに気づき、人それぞれの違いを認めていく態度を育てたい。

<1/2時間目>

ね ら い

だれもがすばらしい個性をもっていることを理解するとともに、自分を振り返り、自分のよさに気付かせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。 ○「わたしと小鳥とすずと」の詩を読み聞かせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。 ○詩を聞く。	○詩の全文を模造紙等を書いて提示してもよい。 	資料 「みんなちがってみんないい」 模造紙等
	<b>「わたしと小鳥とすずと」の詩について考えよう</b>				
展	○この詩を読んで、思ったことや感じたことを自由に発表させる。	一斉	○「わたしと小鳥とすずと」を音読する。 ○この詩を読んで、思ったことや感じたことを発表する。	○個人読みや一斉読みなどを行うことで、この詩の内容が理解できるように工夫する。	
	<b>「みんなちがって、みんないい」について考えてみよう</b>				
開	○わたしと小鳥とすずの違いを考えさせる。	一斉	○わたしと小鳥とすずの違いを考える。 第1連…「わたし」と「小鳥」の違い 第2連…「わたし」と「すず」の違い	○「みんなちがって、みんないい」の一行を手がかりにして、全てのものがすばらしい個性をもっていることに気付かせる。	
	<b>自分の○○○のところを見つけて書いてみよう</b>				
まとめ	○自分の良いところや知ってほしいことを書かせる。	個別	○自分の良いところや知ってほしいことをワークシートの項目の中から、5つ選んで書く。	○自分の良いところや知ってほしいことを考えて書かせる。〈例〉を出して考えやすいようにする。	ワークシート ①
	○本時の学習のまとめと次時の予告をする。	一斉	○「わたしと小鳥とすずと」を読み、「みんなちがって、みんないい」の意味を振り返る。	○一斉読みをすることで振り返らせる。 ○次時の授業で紹介する項目について、3項目にすることを伝える。 ○保護者と本人と相談の上決めてもよい。	

評 価

それぞれがすばらしい個性をもっていることを理解するとともに、自分を振り返り、自分のよさに気付くことができたか。

<2/2時間目>

ねらい

友達によさに気付くとともに、友達から認めてもらうことを通して、それぞれの違いを認め合い、自分も他人も大切にできる心情を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○学習のめあてを知らせる。	一斉	○「わたしと小鳥とすずと」を読み、最後の一文を思い出す。	○「みんなちがって、みんないい」という言葉から感じたことを自分の言葉で言えるようにする。	資料 「わたしと小鳥とすずと」 模造紙等
展開	<b>「だれでしょう」ゲームで友達をあててみよう</b>				
	○「だれでしょう」ゲームのルールを説明する。 ○吹き出しに書かれていることを手がかりに「誰か」を考え、発表させる。	一斉	○「だれでしょう」ゲームのルールを知る。 ○「だれでしょう」ゲームをする。	○みんな円になって椅子に座る。 ○ワークシートに書いて、事前を選んで3つの項目文を一人ずつ紹介する。 ○一人一人が自分とのちがいをを見つけ、個性を持っていることに気付くようにする。	前時の ワークシート
展開	<b>「だれでしょう」ゲームをして思ったことや感じたことを話し合おう</b>				
	○「だれでしょう」ゲームをして思ったことや気付いたことを話し合わせる。	グループ	○「だれでしょう」ゲームをして思ったことや気付いたことを話し合う。	○友達への新たな気づきを大切にしよう指導する。 ○一人一人がそのよさを、友達から認められるようにする。 ○友達の良いところを認め、仲良くしていこうという気持ちをもてるようにする。	
まとめ	<b>「だれでしょう」ゲームや話し合いから、気付いたことや分かったことを書いてみよう</b>				
	○本時の学習のまとめをする。	一斉	○学習を振り返り、気付いたことや分かったことをワークシートに書く。	○一人一人の個性の大切さに気付くようにする。	ワークシート ②

評価

友達によさに気づき、それぞれの違いを認め合うことが大切であると気付いたか。

だれでしょうゲーム

ルール① 3～4人のグループを作り、A・B・C・・・とグループ名をつける

ルール② みんな円になって、椅子にすわる  
(この時、グループのメンバーはかたまるようにする)

ルール③ 例 Aグループは立つ  
↓  
教師が、Aグループの事前を選んで3つの項目文を一人ずつ紹介する  
↓  
Aグループ以外の児童が紹介されたのは誰かをあてる

